

内部評価の結果

【評価結果】

計画どおり実施

【評価理由】

近年、健康志向への意識の高まり、高齢に伴う生きがいづくりなど、市民スポーツに対するニーズが多様化してきており、本市の「スポーツ振興計画」においても、スポーツ実施率及びスポーツ観戦率の向上を図り、スポーツを通じた元気なまちづくりの推進を掲げているところである。

桃園市民プールは、市内唯一の公認50m室内プールであり、競技スポーツや生涯スポーツ・健康増進を図る上で不可欠な施設として、本市のスポーツ行政において重要な役割を果たしている。

一方で、築50年を超えて老朽化が著しく、屋外プールの一部については漏水のため利用中止をしている状況である。また、サブプールや諸室が不足しており、競技大会の開催に支障が出ているなど多くの課題を抱えている。

桃園市民プールの位置づけは、「北九州市公共施設マネジメント実行計画」では一般競技大会に対応可能な公認プールとして存続することとしており、「北九州市スポーツ振興計画」ではオリンピック・パラリンピック等のキャンプ地誘致に対応可能な施設として整備することと位置づけられている。

以上の経緯や課題を踏まえ、プールの再整備を行うことで、施設面の課題が解消され、スポーツの振興はもとより、利用者の利便性・安全性の向上、さらには地域の魅力向上及び活性化が期待される。このため、本施設整備の早期着工、完成が求められている。

なお、公共事業調整会議では、事業の費用対効果の最適な分析手法の検討や、より有利な財源確保等の検討について意見があった。

費用対効果については、当該施設が桃園運動公園内に位置することから、運動公園に対応する「大規模公園費用対効果分析マニュアル(国土交通省)」に基づく算出を試みたが、このマニュアルは施設の再整備には対応していないことが分かった。このため、評価の採点方法について定めた「公共事業評価(事前評価2における内部評価)の採点方法について(北九州市企画調整局)」に基づき、費用便益分析の手法が確立していない事業として評価することとする。

また、財源確保については、補助金および助成金等に関する情報を精査した結果、国の補助金(文部科学省)の活用を検討することとする。